超健康高齢者の心理的特徴について

松 永 俊 二** 長 友 淑 美* 宮 口 文 宏* 川 畑 了 大*
救仁郷 修* 山 元 拓 哉* 井 尻 幸 成* 米 和 徳*
石 堂 康 弘* 小 宮 節 郎*

Psychological Characteristics in Super-healthy Elders

Shunji Matsunaga**, Yoshimi Nagatomo*, Fumihiro Miyaguchi*,
Ryodai Kawabata*, Osamu Kunigo*, Takuya Yamamoto*, Kosei Ijiri*,
Kazunori Yone*, Yasuhiro Ishidou*, and Setsuro Komiya*

80 歳以上の健康老人の心理的特徴を明らかにする目的でモーズレイ心理テストを実施した。現在も介助を受けず自立して健康に生活している 80 歳以上の超健康老人 (super healthy elders) 50 名と明らかな頸椎由来の症状を有する 80 歳以上の高齢者 50 名を対象とした。頸椎由来の症状を呈する老人は 23 名 (46%) がモーズレイ心理テストで異常がみられた。super healthy elders でも 24 例 (48%) は異常型であったがその 88% は転嫁順応型であった。super healthy elders は外界から受けるストレスを適当に転嫁させて健康を保持しているのではないかと考える。

Psychological characteristics of super healthy elders were examined with the Maudsley Personality Inventory (MPI). Two groups of subjects over 80 years of age were selected: 50 super healthy elders who still lead independent, healthy lives without receiving any aid and 50 patients with cervical symptom. The two groups were compared according to MPI. Twenty-three (46%) subjects of the cervical symptom group were rated as abnormal pattern (introverted type, 3; emotional instability type, 8; neurosis type, 9; adaptive type, 3). Twenty-four (48%) of the super healthy subjects were also rated as abnormal, of which 21 (88%) were rated as adaptive type. Super healthy elders with ideal personality are able to get rid of external stress, and this may be a key to maintaining healthy lives.

Key words : super healthy elders (超健康老人), Maudsley Personality Inventory (モーズレイ心理テスト)

は じ め に

高齢になっても介護を全く必要とせず健康な生活を送っている老人 (super-healthy elders; SHE) がいることが知られている。本研究ではこの super-healthy elders の心理的特徴と健康との関係を検討する目的でモーズレイ心理テスト¹⁾を実施した。

対 象

家族や周囲の人々の介護を全く受けず自立して生活が出来、これまで外傷や感染症以外で医療を受けたこ

とのなく、また認知障害などの精神科疾患の認められない 80 歳以上の高齢者を super-healthy elders; SHE と定義した。この SHE50 名 (男性 38 名, 女性 12 名) と頸椎由来の症状を有する 80 歳以上の高齢者 50 名 (男性 35 名, 女性 15 名) を研究対象とした。SHE 群の年齢は 80 歳から 94 歳 (平均 86.7 歳) であり対照群である有頸椎由来症状群は 83 歳から 91 歳 (平均 85.2 歳) である。有頸椎由来症状群の外來診察時の診断は頸椎症性脊髄症 24 名, 頸肩腕症候群 10 名, 頸椎症性神経根症 8 名, 頸椎後縦靱帯骨化症 5 名, 外傷性頸部症 3 名であった。

* 鹿児島大学大学院運動機能修復学講座整形外科 Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Kagoshima University, Kagoshima, Japan

** 今給黎総合病院整形外科 Department of Orthopaedic Surgery, Imakiire General Hospital, Kagoshima, Japan

図1 頸椎由来の症状を有する高齢者のモーズレイ心理テスト
N スコアおよび E スコアが 19 点から 29 点の領域（十字の網線領域）が正常領域である。正常域以外の領域を $E^{-}N^{+}$ 型（神経型）、 $E^{-}N^{-}$ 型（内向型）、 $E^{+}N^{+}$ 型（精神不安定型）、 $E^{+}N^{-}$ 型（転嫁順応型）の 4 つに分類する。

図2 Super-healthy elders のモーズレイ心理テスト
異常領域の対象は転嫁順応型が大部分である。

方 法

全対象についてモーズレイ心理テストを実施した。研究は臨床研究の倫理委員会の指針に基づき対象に解析と結果の公表の同意を得た。

結 果

1. 頸椎由来の症状を有する高齢者のモーズレイ心理テスト

50 名中 27 名は正常領域であったが 23 名 (46%) は異常領域であった。異常パターンは E⁻N⁺型 (神経型) 9 名, E⁻N⁻型 (内向型) 3 名, E⁺N⁺型 (精神不安定型) 8 名, E⁺N⁻型 (転嫁順応型) 3 名であった (図 1)。

2. Super-healthy elders のモーズレイ心理テスト

Super-healthy elders においてもモーズレイ心理テストで h 異常領域が 24 名 (48%) であった。しかし、異常のパターンは E⁻N⁺型 (神経型) 0 名, E⁻N⁻型 (内向型) 2 名, E⁺N⁺型 (精神不安定型) 1 名, E⁺N⁻型 (転嫁順応型) 21 名と圧倒的に E⁺N⁻型 (転嫁順応型) が多いのが特徴であった (図 2)。

考 察

今回の心理テストの結果では高齢になっても理想的な健康を維持している SHE においては転嫁順応型が頸椎由来の症状を有する高齢者に比べ多いことがわかった。研究で使用したモーズレイ心理テストは外界から受ける種々のストレスに対する心理的反応のパターンを解析するのに有用なテストである³⁾。我々は以前に

装具療法を行った側弯症患者に対してこのモーズレイ心理テストを行い患者が種々のパターンの心理的反応を示すことを報告した²⁾。頸椎由来の症状を有する高齢者は神経型, 内向型, 精神不安定型などの異常が多く転嫁順応型は 3 名のみであった。Super-healthy elders は身体的に健康であるため心理的にも正常が多いと考えられたが実際は 24 名 (48%) が心理テストで異常領域であった。しかし, Super-healthy elders 異常型の 88% は転嫁順応型であり, この群の高齢者は外界からのストレスに適応していることがわかった。心理的ストレスは老化に係る重要な危険因子である。Super-healthy elders はこの心理的ストレスを転嫁することにより種々の有害な加齢現象を回避している可能性がある。

結 語

Super-healthy elders は外界からのストレスを転嫁順応させる心理的特徴を有することがわかった。

参 考 文 献

- 1) Jensen, A. R. : The maudslay personality inventory. Acta. Psychol., 14 : 314-325, 1958.
- 2) Matsunaga, S., et al. : Psychologic management of brace therapy for patients with idiopathic scoliosis. Spine, 30 : 547-550, 2005.
- 3) Stonehill, E., Crisp, A. H. : Psychoneurotic characteristics of patients with anorexia nervosa before and after treatment and at follow-up 4-7 years later. J. Psychosom Res., 21 : 187-193, 1977.